

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

小数点以下は四捨五入

事業所名 放課後等デイなごみクラブ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	基準値以上のスペースを確保しています	令和2年4月1日から新しい事業所に移転し、利用定員に対し、今以上に余裕のあるスペースを設定している
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	0%	職員配置は10人の利用者に対し、平均6.8人を配置している	職員配置基準以上のより手厚い支援体制の人員配置をしています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	15%	65%	20%	玄関などできる範囲でバリアフリー化はしているが、事業所が古民家を借りているので、改装できない面がある。	令和2年4月1日から新しい事業所に移転し、完全バリアフリーにしています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	97%	3%	0%	月に1度の定例全体支援会議で先月の取り組みを評価し、改善の努力をし、週1回の常勤職員の支援会議で、PDCAサイクルで業務改善を行っている	業務改善のPDCAがサイクルとして回っていくよう支援会議を参加型にして、充実させていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	誰が書いたかわからないように無記名・郵送方式で保護者の方が安心して率直な意見が書けるようなアンケートを実施し、保護者の方の意向を把握し、日常の業務を改善していきます	今は年1回の保護者向けアンケートを、年2回別の観点からの評価を受けたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	自己評価の結果は集計をまとめて、保護者配布に通信で公表し、HPでも公開しています	ホームページの周知と今以上に見やすい、見たいと思ってもらえるよう構成をかえていく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				令和2年度は外部評価も実施していく予定です	第三者による外部評価を受けられるよう働き掛けをしていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	92%	8%	0%	毎月の全体支援会議で必ず研修情報を案内し、参加を呼び掛けるとともに、必要だと管理者が判断した研修には職員を派遣しています	外部研修に参加した結果を職場で生きた実践例の中で還元学習ができるような体制を作っていきます
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	72%	28%	0%	一人一人アセスメントを行い、個別支援会議で検討して、支援計画にあげています	アセスメントの数値化に取り組み、客観的な評価をしていきます
適切な 支援の 場	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	67%	33%	0%	入所時に小学校低学年・高学年・中学生と3段階にわけてアセスメントシートを作成しています	年齢に応じたアセスメントシートをより精度を高くすべく取り組みます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	87%	13%	0%	常勤職員で立案しています	活動プログラムを常勤職員全体でPDCAサイクルで常に見直していきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	96%	4%	0%	年間プログラムをもとに月間プログラムが固定化しないよう職員間で協議しながら工夫しています	その時の利用者の様子をよく考慮しながら、その時、その時にふさわしい活動プログラムを時間をかけて作り上げていきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	94%	6%	0%	月間取り組み目標で課題を個別に設定し、毎回の利用時の課題設定と支援に生かせるよう努力しています	サービス等利用計画→個別支援計画→月間取り組み目標→モニタリングのサイクルの中で、可能な限りきめの細かい課題を設定していきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	その子どもの状況にもよりますが、無理のないよう個別活動と集団活動が組み合わせられるようにしています	利用者である子どものその時々々の状況をよく観察し、その子にあった集団活動・個別活動の組み合わせを設定していきます

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	94%	6%	0%	常勤職員間で毎日、その日の支援の内容や役割分担の打ち合わせを確認しています	その日の打ち合わせに職員が主体的に参加できるよう参加型の打ち合わせに変えていきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	37%	42%	21%	ラインで情報共有をして、翌日の打ち合わせや週1回の支援会議で振り返り・反省・総括をして、次の支援にいかすようにしています	その日の反省・総括を全員が共有できるようなシステムを試行していきます
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	毎日、利用された子どもの保護者に活動時の写真を付けて報告し、記録としています	現在の毎日の活動記録・支援記録の充実と検証を全員が共有できるシステムを試行していきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	###	0%	0%	毎月の月間取り組み目標を設定し、評価し、個別支援計画の見直しが必要な場合は、見直しをしている	月間取り組みの評価と計画の検討・見直しに常勤職員だけでなく、非常勤職員も参加できる体制を試行していきます
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	###	0%	0%	時々、ガイドラインを確認しながら、ガイドラインに沿って複数の基本活動を組み合わせさせて支援を行っています	ガイドラインの総則の基本活動を全職員が意識できるようスタッフルームに張り出します
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	###	0%	0%	児童発達管理責任者が会議に出ています。出れないときは、前任の児童発達管理責任者(現管理者)が出ています。今後は直接の担当者も出席していきます	サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者とともに、もう1名の関係職員が出席出来る体制を作っていきます
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	###	0%	0%	毎回の利用について、保護者個人のスマホの画面で確認できるシステムに加えて、メールでも連絡・調整・確認をしています	保護者の方との情報の確認の徹底がなされるよう保護者からの情報が全職員で確認できるシステムの徹底を図る
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現在、医療的ケアの必要な利用者さんは見えません	令和2年度から、施設が完全バリアフリー化されるので、医療的ケアの必要な子どもさんも受け入れていきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%	0%	療育センターだけでなく、保育園との情報共有の努力をしています	小学1年生の入学前には利用していた保育所に訪問し、支援の情報共有とフォローのための相互理解に努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				まだ、学校の卒業生をだしていません	来年度高校2年生になり、実習も増えるので、卒業後の就労を想定して、早くから相互の連携を強化していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	92%	8%	0%	関係機関との情報共有に出向いたり、関係機関の研修に積極的に参加しています	今後も積極的に専門機関と連携を強化していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	93%	7%	0%	時々近くの公園で、学童の子どもさんとの交流をし、地域の公民館活動に参加しています	地域の学童を訪問し、障がいのない子どもさんと交流する機会を作っていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	###	0%	0%	自立支援協議会には複数名の職員が参加しています	今後も複数名の職員を派遣する
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	###	0%	0%	毎日、利用された子どもの保護者に活動時の写真を付けて支援の見える化に努め、保護者の方からのコメントもいただきながら、一方通行にならないよう双方で情報をやり取りし、共通理解に努めています	毎回の利用時に「支援の見える化」のために保護者のスマホにマイページを開設して、写真と記録を送っているため、今後もその方向でその日のことはその日に情報を発信し、相互理解に努めていく	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%	0%	外部の機関の研修を紹介しています	職員研修のテーマに「ペアレント・トレーニング」を設定して、まずは全職員が保護者の対応力の向上を図る
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	###	0%	0%	契約時に行うとともに、変わったときには通信等で報告をしています	運営規定や利用者負担額については説明ができていると思うので、支援の内容について、個別支援計画に基づいて、丁寧な説明を心がけていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	92%	8%	0%	相談の依頼があれば、個別に家庭訪問や事業所内での懇談会を開いています	月に1回の保護者相談会を保護者の出やすい日曜日に設定していく方向で検討していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				保護者アンケートの結果、保護者会をしてほしくないという保護者の方からのご意見があり、現在のところ立ち上げに至っていません	保護者会は設けないものの、保護者同志が自然と自分の欲しい情報が得られるような横のつながりができるような情報を発信していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	###	0%	0%	日常的にその日あったことはその日に対応するよう努力しています	苦情が遠慮なく言える雰囲気を作っていくとともに、苦情があった場合は法人本部と連携し、問題の正確な情報把握と迅速な対応のできる体制を整えていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	###	0%	0%	毎月1回の通信を発行しています	毎月1回の通信をより読みやすく、内容を理解してもらえるよう編集に力を入れていく
	35	個人情報に十分注意している	###	0%	0%	個人情報の守秘義務・取り扱い規定を作成して徹底を図っています	個人情報の扱いに関して、今以上、厳格に対応できるよう職員研修に力を入れていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	98%	2%	0%	月に1回の通信やメール・成長療育システムだけでなく、直接顔と顔を合わせた意思の疎通を心がけています	紙や電子媒体に頼るだけでなく、時間の許す限りは直接お話をし、意思や思いの確認をさせていただきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	65%	28%	7%	地域の民生・児童委員さんに来ていただいたり、近隣の公民館を借りて、子どもたちの行事をおこなっています	来年度から新しい事業所に移転するので、法人が進めている農副連携を通じて、周辺地域住民との交流に取り組みたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	###	0%	0%	年度初めに実情にあったものにマニュアルを編集しなおし、職員に周知するとともに、毎年、改訂版を保護者の方に配布しています	令和2年度も、緊急時・防犯などにより現実的な対応ができるよう緊急時対応マニュアルを見直していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	###	0%	0%	年2回の年間計画で消防署に来ていただき地震・火災を想定して実施している。また、緊急危難訓練も不定期に行っています。	令和2年度は子どもたちにより現実的に非常災害の怖さを体感してもらうための体験プログラムを検討していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	###	0%	0%	県の虐待防止の研修会に職員を派遣するとともに、毎月1回の全体支援会議で、職場学習会で意識を高めています	今も月に1回の全体支援会議で虐待防止法や差別解消法を取り上げているが、総論でなく個別の事例検討を入れていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	92%	8%	契約時に身体拘束についての説明を徹底します	令和2年度の4月に全利用者に対しての身体拘束についての説明を行う予定
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	###	0%	0%	おやつ時にアレルギーについて個別対応をして配慮しています	毎年、前年度の調査をもとに確認の意味で、最新版のアレルギー調査を行う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	###	0%	0%	全体支援会議で毎回確認しています	ヒヤリハットの報告が少ないので、毎週の支援会議で、ヒヤリハットの報告を職員に義務付ける